洪水に備えて①～樋門操作の講習会を実施～

　太田川・小瀬川の河川沿いには約２００箇所の樋門・樋管が設置されています。
　樋門・樋管は、洪水時には河川から洪水の逆流を防止のため開閉操作が必要となります。これらの操作は関係市町に委託し、地域の操作員により実施されています。
　梅雨を前に、関係市町担当者、操作員を対象とした樋門操作訓練を実施し、**連絡体制、操作方法、操作異常時の対応を確認**しました。

■操作講習会の実施状況

５月１２日	広島市安佐北区管内	延べ２６名	（講習会：安佐北区役所内	現地説明：中島２号排水樋門）
５月１４日	小瀬川管内	延べ　８名	（講習会：大竹市役所内	現地説明：小瀬排水樋門）
５月２４日	広島市佐伯区管内	延べ　５名	（講習会：久日市集会所	現地説明：久日市第４排水樋門）
５月２５日	広島市安佐南区管内	延べ２７名	（講習会：安佐南区役所内	現地説明：古市２号排水樋門）
６月　２日	安芸太田町管内	延べ１８名	（講習会：安芸太田町役場内	現地説明：下本郷排水樋管）

講習会参加者　７自治体８４名
※小瀬川管内は大竹市、岩国市、和木町の３市町が対象
※参加人数は操作員のほか関係市町の担当者含む

講習会（連絡体制等の再確認）

操作方法の再確認（現地講習）

操作異常時の対処方法（電動化施設の復旧）

操作異常時の対処方法（手動による操作）

Q．樋門とは？
A．宅地側の雨水や水田の水などが川や水路を流れ、より大きな川に合流する場合、合流する川の水位が洪水などで高くなった時に、その水が宅地側に逆流しないように設ける施設です。

洪水に備えて②～排水ポンプ車・照明車の訓練を実施～

平成２２年６月４日に広島市安佐北区の根谷川堤防にて排水ポンプ車及び照明車の操作訓練を実施しました。

梅雨期に備え、有事の際に円滑な作業が行えるよう操作方法の習得や、操作員の技能向上を目的に協力会社及び太田川河川事務所職員延べ４０名が訓練に参加しました。

職員による操作説明

排水用ポンプの据付（宅地側）

ポンプ稼働（排水）訓練（川側）

ポンプ稼働（排水）訓練（宅地側）

照明車の稼働訓練

Q．排水ポンプ車とは？

A．大雨などによる宅地側の浸水被害を早期に解消するため、速やかに現場に急行し、排水作業が行えるよう、排水ポンプとポンプの稼働に必要な発電機を1台の自動車に搭載したものです。
太田川河川事務所では、排水能力３０m3／分（※）のポンプ車を２台保有しています。

※小学校の２５mプール（25m×15m×1.2m）を15分で排水する能力

Q．照明車とは？

A．災害発生時に夜間作業を行いやすくしたり、危険箇所を監視するための車両です。その明るさは６００m離れた地点で夜間に新聞が読める明るさです。
太田川河川事務所では、照明車を１台保有しています